

憧れのバレエの世界をもっと身近に

武市 京子 さん

(下吾川)



今年の7月、伊予市で初めてのバレエ教室が灘町にオープンしました。そこで未来のプリマたちに指導を行っているのが、アメリカでプロのバレリーナとして活躍していた武市京子さんご主人の河島真之さんです。

武市さんがバレエを始めたのは4歳の時。病弱だった体を丈夫にしようと、ご両親に勧められたのがきっかけです。高校卒業を機に、子どもの時からの夢であった海外留学を果たし、イタリアのミラノスカラ座バレエ学校、ロシアのボリショイバレエ団と着実にステップアップを重ねました。「海外での生活はすべてが



▲明るいスタジオで行われるレッスン。バレエの楽しさも学びます。

大変でした。言葉の壁があり、最初は先生から注意されても、理解できませんでしたが、外国人ダンサーとの体型の違いに悩んだこともありましたが、それでも、実際に入ってしまうとは何とかなるものです。」

海外では、バレエが芸術として認められており、国がサポートする体制が整っているため、真剣にバレエに打ち込むことができました。その留学経験で身に付けた技術や表現力が認められ、2002年には、日本で最も権威のある全日本バレエコンクールシニアの部で優勝。2003年からアメリカのバレエ団で主役級のプリンシパルも務めました。「アメリカのバレエ団を辞め、帰国することが決まったとき退団公演を開いてもらい、とても感動しました。それがバレエ人生の中でも、特に心に残っています。」

現役を引退し、指導者として地元

伊予市に戻ってきた武市さん。「生まれ育った伊予市に恩返ししたくて伊予市に教室を開きました。市民の多くの方にバレエを身近に感じてもらうきっかけになればと思います。」

現在、武市さんご夫妻の教室には、2歳〜50歳代までの幅広い年代の方がレッスンに通い、汗を流しています。健康やエクササイズのために通う方も多く、大人対象のクラスは初心者の方がほとんどです。「バレエの基本は世界共通なので、どのクラスでも基本である柔軟を大切にしています。『厳しさの中にも楽しさを』をモットーに、踊る楽しさを感じてもらおうように心掛けています。」

優雅で華やかなバレエの世界。憧れはあっても、敷居が高いと思って敬遠してしまいがちです。「実際に見て、体験すると、もっと身近に感じられるはずです。まずはバレエを好きになってもらいたい。そしていつか世界に羽ばたくような生徒を育成できたら」

スポットライトを浴びる表舞台から、指導者という第二の舞台へと一歩踏み出した武市さん。新たな目標に向かって飛躍し続けます。

愛媛・武市バレエスタジオ
☎ 983-13601
<http://www.ehime-takeichi-ballet.com/>
※初回に限り、無料体験レッスンを
行っています。

